証券コード　6590
2016年６月３日

株　主　各　位

神奈川県横浜市栄区笠間二丁目５番１号
芝浦メカトロニクス株式会社
代表取締役社長　藤　田　茂　樹

第107期定時株主総会招集ご通知

拝啓　平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申しあげます。

この度の熊本地震で被災された皆様には、心よりお見舞い申しあげます。

さて、当社第107期定時株主総会を下記により開催致しますので、ご出席くださいますようご案内申しあげます。

当日ご出席願えない場合は、書面により議決権を行使いただくことが可能ですので、お手数ながら後記の株主総会参考書類をご検討いただき、同封の議決権行使書用紙に賛否をご表示のうえ、2016年６月22日（水曜日）午後５時までに到着するよう折り返しご送付くださいますようお願い申しあげます。

敬　具

記

1. **日　時**　2016年６月23日（木曜日）午前10時
2. **場　所**　神奈川県横浜市栄区笠間二丁目５番１号　当社会議室
   （末尾の株主総会会場案内図をご参照ください。）
3. **目的事項**

報告事項

1. 第107期（自2015年４月１日至2016年３月31日）事業報告の内容、連結計算書類の内容ならびに会計監査人及び監査役会の連結計算書類監査結果報告の件
2. 第107期（自2015年４月１日至2016年３月31日）計算書類の内容報告の件

決議事項

第１号議案　取締役10名選任の件
第２号議案　監査役２名選任の件
第３号議案　補欠監査役１名選任の件
第４号議案　会計監査人選任の件
第５号議案　役員賞与支給の件

以　上

◎　当日ご出席の際は、お手数ながら同封の議決権行使書用紙を会場受付にご提出くださいますようお願い申しあげます。

◎　会場では節電対策として照明、空調等を調節致しますので、予めご了承くださいますようお願い申しあげます。

◎　修正すべき事項が生じた場合には、直ちに当社ウェブサイト（http://www.shibaura.co.jp/）にて、修正後の内容を開示致します。

◎　本株主総会の決議内容につきましては、株主総会終了後、上記当社ウェブサイトに掲載致しますので、予めご承知くださいますようお願い申しあげます。

株主総会参考書類

議案及び参考事項

第１号議案　取締役10名選任の件

取締役全員（11名）は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので、経営体制の効率化を図るため１名減員し、取締役10名の選任をお願い致したいと存じます。

取締役候補者は、次のとおりであります。

候補者番号	氏名（生年月日）	略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況	所有する当社の株式数（千株）
1	藤田茂樹（ふじたしげき） （1958年９月17日生）	1982年４月　㈱東芝入社 1996年８月　当社入社 2000年10月　当社ファインメカトロニクス事業部技術部長 2002年10月　当社横浜事業所ウェットプロセス装置部担当部長 2006年４月　当社横浜事業所ウェットプロセス装置部長 2007年４月　当社ファインメカトロニクス事業部長 2008年６月　当社取締役、ファインメカトロニクス事業部長 2009年６月　当社常務取締役、ファインメカトロニクス事業部長 2014年６月　当社代表取締役社長 現在に至る	39
	【選任理由】 本総会終結の時をもって、藤田茂樹氏の当社取締役としての就任期間は８年、当社代表取締役社長としての就任期間は２年となります。藤田茂樹氏は、当社取締役として豊富な経営経験を有し、現在も代表取締役社長として当社及びグループの最高執行責任者を務め、経営の指揮及び監督を適切に行っており、引き続き取締役として適任と判断し、取締役候補者と致しました。		

候補者番号	氏名（生年月日）	略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況	所有する当社の株式数（千株）
2	道嶋（どうじま） 仁（ひとし） （1957年２月１日生）	1981年４月　㈱東芝入社 2004年６月　同社四日市工場総務部長 2006年12月　同社ディスプレイ・部品材料統括総務部長 2009年６月　当社取締役、総務部長兼輸出管理部長 2013年６月　当社常務取締役、経営管理本部長兼横浜事業所長兼さがみ野事業所長 2014年５月　当社常務取締役、経営管理本部長兼営業統括部長兼横浜事業所長兼さがみ野事業所長 現在に至る （重要な兼職の状況） 芝浦エンジニアリング㈱代表取締役社長 芝浦ハイテック㈱代表取締役社長	27
	【選任理由】 本総会終結の時をもって、道嶋　仁氏の当社取締役としての就任期間は７年となり、当社常務取締役としての就任期間は３年となります。道嶋　仁氏は、当社取締役としての豊富な経営経験を有し、現在も企画、総務、経理等を担当する経営管理本部長として経営管理分野の執行責任者を務め、業務執行及び経営監督を適切に行っており、引き続き取締役として適任と判断し、取締役候補者と致しました。		
候補者番号	氏名（生年月日）	略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況	所有する当社の株式数（千株）
3	藤野（ふじの） 真人（まこと） （1958年５月28日生）	1985年４月　㈱東芝入社 2004年10月　同社四日市工場新棟構築推進室長兼フラッシュパートナー製造部長 2008年６月　同社セミコンダクター社資材部長 2011年12月　同社セミコンダクター＆ストレージ社調達統括責任者 2013年６月　当社取締役、技術本部副本部長兼研究開発グループ長兼品質保証部長 2013年10月　当社取締役、ファインメカトロニクス事業部副事業部長兼技術本部副本部長 2014年６月　当社常務取締役、ファインメカトロニクス事業部長 現在に至る （重要な兼職の状況） 芝浦エレテック㈱代表取締役社長	17
	【選任理由】 本総会終結の時をもって、藤野真人氏の当社取締役としての就任期間は３年となり、当社常務取締役としての就任期間は２年となります。藤野真人氏は、当社取締役としての十分な経営経験を有し、現在もファインメカトロニクス事業部長として事業運営の執行責任者を務め、業務執行及び経営監督を適切に行っており、引き続き取締役として適任と判断し、取締役候補者と致しました。		

候補者番号	氏名（生年月日）	略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況	所有する当社の株式数（千株）
4	小川 佳次（おがわ よしつぐ） （1960年8月27日生）	1985年4月 ㈱東芝入社 1996年8月 当社入社 2007年4月 当社横浜事業所ウェットプロセス装置部長 2010年4月 当社ファインメカトロニクス事業部副事業部長 2011年6月 当社取締役、ファインメカトロニクス事業部副事業部長 2014年6月 当社常務取締役、ファインメカトロニクス事業部副事業部長 2015年4月 当社常務取締役、メカトロニクスシステム事業部長 現在に至る	23
	【選任理由】 本総会終結の時をもって、小川佳次氏の当社取締役としての就任期間は5年となり、当社常務取締役としての就任期間は2年となります。小川佳次氏は、当社取締役としての十分な経営経験を有し、現在もメカトロニクスシステム事業部長として事業運営の執行責任者を務め、業務執行及び経営監督を適切に行っており、引き続き取締役として適任と判断し、取締役候補者と致しました。		

候補者番号	氏名（生年月日）	略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況	所有する当社の株式数（千株）
5	野澤（のざわ） 隆（たかし） （1959年6月20日生）	1983年3月 当社入社 2007年4月 当社横浜事業所製造技術グループ長 2012年4月 当社生産・調達本部長 2013年6月 当社取締役、生産・調達本部長 2014年4月 当社取締役、メカトロニクスシステム事業部副事業部長兼メカトロニクスシステム装置統括部長 現在に至る	16
	【選任理由】 本総会終結の時をもって、野澤　隆氏の当社取締役としての就任期間は3年となります。野澤　隆氏は、当社取締役としての十分な経営経験を有し、現在もメカトロニクスシステム事業部副事業部長兼メカトロニクスシステム装置統括部長として生産分野の執行責任者を務め、業務執行及び経営監督を適切に行っており、引き続き取締役として適任と判断し、取締役候補者と致しました。		

候補者番号	氏名（生年月日）	略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況	所有する当社の株式数（千株）
6	今村圭吾（いまむらけいご） （1962年９月30日生）	1985年４月　㈱東芝入社 1996年８月　当社入社 2009年４月　当社さがみ野事業所ボンディング装置部長 2010年９月　当社生産・調達本部メカトロニクスシステム装置統括部長 2011年４月　当社生産・調達本部副本部長兼メカトロニクスシステム装置統括部長 2014年６月　当社取締役、生産・調達本部長 2015年１月　当社取締役、生産・調達本部長兼ファインメカトロニクス事業部ファインメカトロニクス装置統括部長 現在に至る	13
	【選任理由】 本総会終結の時をもって、今村圭吾氏の当社取締役としての就任期間は２年となります。今村圭吾氏は、当社取締役としての経営経験を有し、現在も生産・調達本部長兼ファインメカトロニクス事業部ファインメカトロニクス装置統括部長として生産分野の執行責任者を務め、業務執行及び経営監督を適切に行っており、引き続き取締役として適任と判断し、取締役候補者と致しました。		

候補者番号	氏名（生年月日）	略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況	所有する当社の株式数（千株）
7	新藤久司（しんどうひさし） （1964年３月17日生）	1986年４月　㈱東芝入社 1996年８月　当社入社 2003年４月　当社ファインメカトロニクス事業部ＦＰＤ装置営業部担当部長 2009年４月　当社ファインメカトロニクス事業部営業部長 2013年４月　当社メカトロニクスシステム事業部副事業部長 2014年６月　当社取締役、メカトロニクスシステム事業部副事業部長 2015年４月　当社取締役、メカトロニクスシステム事業部副事業部長兼ファインメカトロニクス事業部副事業部長 現在に至る	14
	【選任理由】 本総会終結の時をもって、新藤久司氏の当社取締役としての就任期間は２年となります。新藤久司氏は、当社取締役としての経営経験を有し、現在もメカトロニクスシステム事業部副事業部長兼ファインメカトロニクス事業部副事業部長として営業分野の執行責任者を務め、業務執行及び経営監督を適切に行っており、引き続き取締役として適任と判断し、取締役候補者と致しました。		

候補者番号	氏名（生年月日）	略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況	所有する当社の株式数（千株）
8	荒井 隆史（あらい たかし） （1959年８月31日生）	1983年３月　当社入社 2002年10月　当社横浜事業所半導体洗浄装置部長 2004年４月　当社半導体装置事業部半導体洗浄装置部長 2008年10月　当社半導体装置事業部副事業部長兼営業部長 2010年４月　当社ファインメカトロニクス事業部副事業部長兼営業第二部長 2014年７月　当社ファインメカトロニクス事業部副事業部長 2015年６月　当社取締役、ファインメカトロニクス事業部副事業部長 現在に至る	12
	【選任理由】 本総会終結の時をもって、荒井隆史氏の当社取締役としての就任期間は１年となります。荒井隆史氏は、当社取締役としての経営経験を有し、現在もファインメカトロニクス事業部副事業部長として営業分野の執行責任者を務め、業務執行及び経営監督を適切に行っており、引き続き取締役として適任と判断し、取締役候補者と致しました。		

候補者番号	氏名（生年月日）	略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況	所有する当社の株式数（千株）
9	吉田 千之輔（よしだ せんのすけ） （1940年７月14日生）	1963年４月　㈱三井銀行入社 1997年６月　㈱さくら銀行専務取締役 1999年６月　山種証券㈱取締役社長 2000年４月　さくらフレンド証券㈱取締役社長 2003年６月　ＳＭＢＣフレンド証券㈱特別顧問、㈱トーホー社外監査役 2007年４月　㈱フジタ社外取締役、㈱ネットワークバリューコンポネンツ社外監査役、(財)日本タイ協会理事長 2007年６月　当社社外監査役（非常勤） 2015年６月　当社社外取締役（非常勤） 現在に至る	10
	【選任理由】 本総会終結の時をもって、吉田千之輔氏の当社社外取締役としての就任期間は１年となります。吉田千之輔氏は、当社の社外監査役としての経験もあり、当社の経営や事業を熟知していることに加え、他社での社長、社外役員の経験、知識等を活かした経営監督や重要な意思決定への参画を行っております。社外取締役として引き続き適任と判断し、社外取締役候補者と致しました。		

候補者番号	氏名（生年月日）	略歴、地位、担当及び重要な兼職の状況	所有する当社の株式数（千株）
10	井奈波 朋子（いなば ともこ） （1966年７月22日生）	1996年４月 弁護士登録（第二東京弁護士会所属）、ひかり総合法律事務所入所 2002年１月 丹宗山本法律事務所（現 インフォテック法律事務所）入所 2013年６月 聖法律事務所設立 2013年10月 弁理士登録 2015年６月 当社社外取締役（非常勤） 現在に至る	―
	【選任理由】 本総会終結の時をもって、井奈波朋子氏の当社社外取締役としての就任期間は１年となります。井奈波朋子氏は、直接会社の経営に関与された経験はありませんが、弁護士としての経験、知識等を活かした経営監督や重要な意思決定への参画を行っており、社外取締役として引き続き適任と判断し、社外取締役候補者と致しました。		

（注）1. 各候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。

2. 各候補者が所有する当社の株式数は、芝浦メカトロニクス役員持株会を通じた所有分を含みます。

3. 吉田千之輔、井奈波朋子の両氏は、社外取締役候補者であります。

4. 吉田千之輔、井奈波朋子の両氏は、東京証券取引所規則に基づき同取引所に届け出ている独立役員であり、両氏が社外取締役に就任した場合には、引き続き独立役員となる予定であります。

5. 当社は、社外取締役がその役割を遺憾なく発揮できるよう、当社に対する賠償額の限度を法令で規定する額とする旨の責任限定契約を、現任の社外取締役である吉田千之輔、井奈波朋子の両氏と締結しております。両氏が社外取締役に就任した場合には、当該責任限定契約を引き続き締結する予定であります。

第２号議案　監査役２名選任の件

監査役　関屋禎三氏が2016年４月17日に逝去され、当社では法令に定める監査役の員数を欠くことになったため、会社法第346条第２項に基づき、横浜地方裁判所へ仮監査役（監査役の職務を一時行う者）の選任の申立てを行い、2016年４月26日付にて同裁判所の決定により、大和康彦氏が仮監査役に選任され、就任致しました。

仮監査役　大和康彦氏の任期は、本総会において後任監査役が選任されるまでの期間となっておりますので、あらためて大和康彦氏の選任をお願い致したいと存じます。

また、監査役　石川信清氏は、本総会終結の時をもって辞任致しますので、井頭　弘氏の選任をお願い致したいと存じます。

なお、大和康彦氏は関屋禎三氏の補欠として選任され、井頭　弘氏は石川信清氏の補欠として選任されることとなりますので、その任期は当社定款の規定により、退任監査役の任期が満了すべき時までとなります。

また、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

監査役候補者は次のとおりであります。

候補者番号	氏名（生年月日）	略歴、地位及び重要な兼職の状況	所有する当社の株式数（千株）
1	※ 大和　康彦（やまと　やすひこ） （1961年７月24日生）	1984年４月　㈱東芝入社 1996年８月　当社入社 2001年４月　当社半導体装置事業部営業第二部営業担当担当課長 2004年７月　当社ボンディング装置事業部営業部長 2009年４月　当社ボンディング装置事業部副事業部長 2013年５月　当社ファインメカトロニクス事業部長附兼管理グループ長 2016年４月　当社仮監査役 現在に至る	10
	【選任理由】 大和康彦氏は、当社の各事業部の営業部長、副事業部長、管理グループ長を歴任した経験、知識等を活かし、経営数値を客観的に把握した実効的な監査が期待できるとともに、社外監査役、会計監査人、内部監査部門との綿密な連携等が期待できることから、監査役として適任と判断し、監査役候補者と致しました。		

候補者番号	氏名（生年月日）	略歴、地位及び重要な兼職の状況	所有する当社の株式数（千株）
2	※ 井頭（いがしら）　弘（ひろし） （1954年12月６日生）	1977年４月　㈱東芝入社 2005年５月　同社財務部管理担当グループ長 2007年５月　同社Ｊ－ＳＯＸ対応推進部長 2010年５月　同社新経理制度対応推進部長 2010年６月　同社執行役常務 2015年10月　同社顧問 現在に至る	―
	【選任理由】 井頭　弘氏は、経理・財務部門での長年の経歴から財務及び会計に関する相当程度の知見を有するものであること等を勘案し、社外監査役として適任と判断し、社外監査役候補者と致しました。		

（注）1. ※印は、新任監査役候補者であります。

2. 各候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。

3. 井頭　弘氏は、社外監査役候補者であります。

4. 井頭　弘氏は、過去５年間において当社の特定関係事業者である株式会社東芝の業務執行者であったことがあり、当該業務執行者であった間に同社から役員報酬等を受けたことがあり、現在顧問として報酬を受けております。

5. 井頭　弘氏が2015年９月まで執行役を務めていた株式会社東芝は、多額の不適切な会計処理が2008年度から2014年度までの長期にわたり行われていたことが判明し、2015年９月、過年度の有価証券報告書等の訂正を行いました。当該有価証券報告書等への虚偽記載の事実を受け、同社は、東京証券取引所及び名古屋証券取引所から同社株式を特設注意市場銘柄に指定され、上場契約違約金を徴求する旨の通知を受けました。また、同年12月、金融庁長官から課徴金納付命令を受けました。

6. 当社は、社外監査役がその役割を遺憾なく発揮できるよう、当社に対する賠償額は、法令が規定する額が限度となる旨の責任限定契約を、現任の社外監査役である内田和政、石川信清の両氏と締結しております。井頭　弘氏が社外監査役に就任した場合には、当該責任限定契約を締結する予定であります。

第３号議案　補欠監査役１名選任の件

法令に定める監査役の員数を欠くことになる場合に備え、あらかじめ補欠監査役１名の選任をお願い致したいと存じます。

なお、本議案につきましては、監査役会の同意を得ております。

補欠監査役候補者は、次のとおりであります。

氏　　名 （生年月日）	略歴、地位及び重要な兼職の状況		所有する当社の株式数（千株）
※ 神田　醇一（かんだ　じゅんいち） （1946年４月７日生）	1970年４月 1993年６月 1997年11月 1999年６月 2003年６月 2007年６月 2009年６月	㈱東芝入社 東芝九州ライフエレクトロニクス㈱取締役総務部長 ㈱東芝中部支社総務部長 ㈱テルム取締役総務部長 東芝セキュリティ㈱代表取締役社長 当社社外監査役（常勤） 当社社外監査役（常勤）退任 現在に至る	―

【選任理由】
神田醇一氏は、当社の社外監査役に2007年６月から2009年６月まで２年間就任しており、過去の活動実績等を勘案し、社外監査役として適任と判断し、社外監査役候補者と致しました。

（注）1.　※印は、新任補欠監査役候補者であります。

2.　候補者と当社との間に特別の利害関係はありません。

3.　神田醇一氏は、社外監査役候補者であります。

4.　当社は、社外監査役がその役割を遺憾なく発揮できるよう、当社に対する賠償額の限度を法令で規定する額とする旨の責任限定契約を、現任の社外監査役である内田和政、石川信清の両氏と締結しております。神田醇一氏が監査役に就任した場合には、当該責任限定契約を新たに締結する予定であります。

第４号議案　会計監査人選任の件

会計監査人　新日本有限責任監査法人は、本総会終結の時をもって任期満了となりますので、新たに会計監査人の選任をお願い致したいと存じます。

なお、本議案に関しましては、監査役会の決定に基づいております。

会計監査人候補者は、次のとおりであります。

名　　称	ＰｗＣあらた監査法人
事 務 所	主たる事務所　東京都中央区銀座八丁目21番１号 住友不動産汐留浜離宮ビル その他の事務所　名古屋事務所、大阪事務所、福岡連絡事務所
沿　　革	2006年６月　設立 2006年７月　業務開始
概　　要	出資金　1,000百万円（2016年４月１日現在） 構成人員　代表社員・社員　121名 公認会計士　801名 公認会計士試験合格者等　434名 監査補助職員　700名 その他の事務職員等　383名 合　　計　2,439名（2016年３月31日現在）

（注）監査役会がＰｗＣあらた監査法人を会計監査人候補者とした理由は、当監査法人の監査体制、監査品質、独立性、効率性等を総合的に評価した結果、適任と判断したためであります。

第５号議案　役員賞与支給の件

当事業年度の社外取締役を除く取締役９名及び社外監査役を除く監査役１名に対し、当期の業績等を勘案し、役員賞与総額28,600千円（取締役分27,020千円、監査役分1,580千円）を支給することと致したいと存じます。

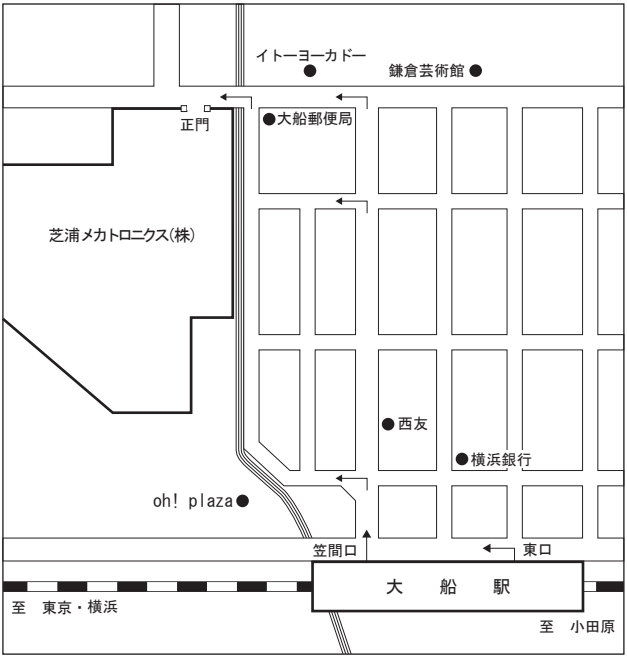
なお、各取締役及び監査役に対する具体的な金額、支給の時期、方法等は、取締役については取締役会に、監査役については監査役の協議にご一任いただきたいと存じます。

以　上

〈メ　モ　欄〉

株 主 総 会 会 場 案 内 図

神奈川県横浜市栄区笠間二丁目５番１号
当 社 会 議 室
TEL　045－897－2421



ＪＲ大船駅笠間口から徒歩６分、東口から徒歩８分

VEGETABLE OIL INK